

主張

我が国の道路交通事故の発生状況は、交通事故件数、交通事故死者数ともに昭和40年代をピークに、それ以後減少に転じ、件数・事故死者数は昭和50年代半ばから再び増加しているものの死者数自体は平成5年より減少を続け、平成26年は4,113人となっている。死傷者の状況と特徴を見てみると、65歳以上の高齢者の割合が交通事故死者全体の半数以上の53・3%となつておらず、重傷者も34・9%と高い割合を示している。幹線道路の整備が進展し、自動車交通をより安全性の高い道路へ転換し、交通事故を削減できる状況になつたとはいえる、今後とも道路管理者が関係機関や住民等と協力して交通事故対策の強化を図っていくことに議論を挟む余地は無いが、高齢者の死亡事故を減らすことが喫緊の課題となつてい

ると云わざるを得
ろうか。交通事故
見てみると歩行中
自転車使用中（63）
の割合が他の年齢
いじから、生活
的な道路交通事故
対策の実施が肝要
であるといえよう。
う。

高齢者を守るために

点狭さく」及び「ライングード」の設置等、速度低減策と「ハンプ」や「狭さく」及び「イン」の設置等、さらに歩行者・転車の幅員を優先して確保し、レーンの設置やカラーペイントの敷設を行う必要がある。

また、ビッグデータを活用し、新仕様に沿った計画立案・評価・見える化を推進し速度抑制策や速度低減策を実施し、加えて交通安全対策による職員数の不足する市町村への支援・連携や住民・利用者のニーズを活用し潜在的な危険因子可能な法定協議会を活用し、などの措置を講じていく。加線道路等への交通転換のためのデータを活用し潜在的な危険因子を活用し潜在的な危険因子を活用し

箇所を抽出特定する分析手法を推進することも、高齢者の歩行中の死傷事故数のうち、道路横断中の事故が全体の6割を占めることから幹線道路における安全性をより一層高めるため、例えば片方だけの確認で済む等、高齢者の身体的特性に対応した「一段階横断歩道」の構造の導入などの措置や路肩活用等による道路空間再分配を推進し自転車通行空間の整備やネットワーク化を図る必要があるのではないか。どうか。

現在、社会資本整備審議会道路分科会において「機能分化による暮らしの道の再生～交通安全～」として活発な議論が行われているところで、あると聞いている。交通事故死者の割合が多い高齢者対策はもちろん、不幸な交通事故死者数を今後ますます減するため、効果的に即効性のある提言を期待したい。

国土交通省道路局と高規格
道路各社は「ゴールデンウィーク」期間中の高速道路・国
道の交通状況の速報値を公表した。

平成27年4月25日(土)～5月6日(水):12日間

ゴールデンウィーク期間中の交通状況(速報)

※比較対象は前年の4月25日(金)～5月6日(火):12日間

【高速道路の交通状況】

①期間中の交通量 全国の高速道路の主な区間

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] / [2]
日平均交通量	42,700 台／日	42,100 台／日	101%
最大日交通量	60,400 台／日	62,600 台／日	96%

②混雜狀況 渋滞回数

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] - [2]
10 km以上の渋滞	328 回	284 回	+ 44 回
内 30 km以上の渋滞	30 回	33 回	▲ 3 回

《各社の特に長い渋滞発生個所》

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生 個所	渋滞日時 (ピーク)	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	東北道	岩舟 JCT 付近	5月3日(日) 10時00分頃	63.9 km	交通集中及び 事故
	上り線	関越道	鶴ヶ島 IC 付近	5月4日(月) 19時10分頃	49.0 km	交通集中及び 事故
中日本	下り線	東名高速	伊勢原 BS 付近	5月3日(日) 7時35分頃	39.3 km	交通集中及び 事故
	上り線	東名阪道	四日市 JCT 付近	5月5日(火) 16時35分頃	32.4 km	交通集中及び 事故
西日本 本四	下り線	中国道	宝塚東 TN 付近	5月2日(土) 7時05分頃	28.2 km	交通集中及び 事故
	上り線	神戸淡路 鳴門道	舞子 TN 出口 付近	5月5日(火) 18時50分頃	45.0 km	交通集中

【国道の交通状況】

①期間中の全国の交通量 全国の国道の主な区間

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] / [2]
日平均交通量	28,700 台／日	28,600 台／日	100%

②期間中の観光地周辺の交通量　観光地周辺の国道の主な区間

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] / [2]
日平均交通量	27,900 台／日	27,600 台／日	101%

駅名	設置箇所	路線名	整備手法	オープン予定	備考
あかいがわ	北海道余市郡赤井川村字都 190 番地 16	一般国道 393 号	単独	H27. 3. 27	
釜石仙人峠	岩手県釜石市甲子町第 7 地割 155 番 4	一般国道 283 号	単独	H27. 4. 21	
あさひまち	山形県西村山郡朝日町大字和合字北又 2724	一般国道 287 号	単独	H27. 10	
日光	栃木県日光市今市 719 番地 1	国道 119 号	単独	H27. 4. 27	
玉村宿	群馬県佐波郡玉村町大字上新田 604 番地 1	国道 354 号	単独	H27. 5	
季楽里あさひ	千葉県旭市イの 5238 番地	市道 1 級 59 号線	単独	H27. 10	
保田小学校	千葉県安房郡鋸南町保田 724 番地	主要地方道 鴨川保田線	単独	H27. 12	重点候補
FARMUS 木島平	長野県下高井郡木島平村大字上木島 38 番地 1	国道 403 号	単独	H27. 5	
アグリパーク竜王	滋賀県蒲生郡竜王町大字山之上 6526 番地	一般国道 477 号	単独	H27. 4	
くちくまの	和歌山県西牟婁郡上富田町岩崎 555-5	近畿自動車道紀勢線	一体	H27. 9	
すさみ	和歌山県西牟婁郡すさみ町江住 808 番地の 1	一般国道 42 号	一体	H27. 9	重点
かつらぎ西	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字笠田東 1271 番地の 28	一般国道 24 号 京奈和自動車道	一体	H27. 5	
たいじ	和歌山県東牟婁郡太地町大字森浦 143 番地の 1	一般国道 42 号	一体	H29	重点
きなんせ岩美	鳥取県岩美郡岩美町新井 337 番地 4	一般国道 9 号	一体	H27. 7	
奥大山	鳥取県日野郡江府町佐川 908-3	一般国道 181 号	一体	H27. 4	
潮彩市場防府	山口県防府市新築地町 2 番地の 3	市道新築地一号線	単独	H27. 9	
上天草さんぱーる	熊本県上天草市大矢野町中 11582 番地 24	一般国道 266 号	単独	H27. 4	
うしぶか海彩館	熊本県天草市牛深町 2286 番地 116	一般国道 266 号	単独	H27. 4	
あそ望の郷くぎの	熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字久石 2807 番地	主要地方道 熊本高森線	単独	H27. 4	



国土交通省道路局は新たに19駅の道の駅を登録した。今回の登録された「道の駅」には、重点「道の駅」が2駅、重点「道の駅」補が1駅含まれている。